

2024年3月期 上期決算説明会 主要質疑応答

試薬市場の市況が悪いということだが、地域別に回復時期や回復の仕方をどのように予想していますか。

- 米国・欧州市場の低迷は、インフレの長期化を原因としたもので、インフレが鎮静化すれば市況は回復すると予想している。時期としては、来期後半くらいではないだろうか。
- 中国市場の低迷は、アカデミア顧客への政府の研究補助金の削減とコロナ禍で生産能力を蓄えた中国企業による過剰な価格競争が原因だ。中国経済が上向けば問題が解決するわけではなく、構造的な解決が必要であり、回復には時間が必要と見ている。中国はこれまで長い期間、高い成長率を維持してきたが、今後は、成長鈍化を前提とした計画を再策定する必要がある。当社としては、汎用品となったPCR関連製品などと、中国企業が対応できていないNGS関連製品などの先端研究製品や産業用製品群とを区別する事業戦略へシフトしていく。
- 日本は物価高の影響により大学等で研究予算の執行に慎重になる傾向があるが、これらは一時的な現象と考えており、早い時期に通常のペースに戻ると予想している。

AAVベクターの開発を進めているが、今後の方向性は。

- 独自の開発で脳、目、内耳に効率的に遺伝子導入ができるAAV(アデノ随伴ウイルス)ベクターの開発を進めている。これらをCDMOのメニューに加え、製薬企業等へ提供を開始した。また、ライセンスも想定した応用開発を進めている。ライセンスには、治療薬としての有用性を示す必要もあり、POC[※]が得られる段階まで当社にて臨床開発を行う計画だ。

※ Proof of Concept の略語 : 治療薬としての有効性や安全性を臨床試験で証明すること

NY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬(TBI-1301)の申請準備状況はいかがでしょうか。

- 「先駆け審査指定制度」に基づき、申請資料一式をPMDAに提出し、申請前の事前評価を受けている。同時に、市販後製造の体制構築を進めている。

以上